

CBWネットワークでのシステムメッセージログ (Syslog)の設定

目的

この記事の目的は、Cisco Business Wireless(CBW)の従来のネットワークまたはメッシュネットワークでのロギングを設定および確認することです。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- 140AC ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新版をダウンロード](#))
- 145AC ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新版をダウンロード](#))
- 240AC ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新のダウンロード](#))

概要

Cisco Business Wirelessアクセスポイントは、802.11 a/b/g/n/ac(Wave 2)ベースで、内部アンテナを備えています。従来のスタンドアロンデバイスとして、またはメッシュネットワークの一部として使用できます。

ネットワークをセットアップすると、注意が必要な事態が発生します。これらのイベントを常に認識するには、システムメッセージログ (通常はsyslog)を確認します。

イベントを認識することで、ネットワークが円滑に動作し、障害を防止できます。syslogは、ネットワークのトラブルシューティング、パケットフローのデバッグ、およびイベントの監視に役立ちます。

これらのログは、プライマリAPのWebユーザインターフェイス(UI)と、設定されている場合はリモートログサーバで表示できます。イベントは通常、リモートサーバに保存されていない場合、リポート時にシステムから消去されます。

システムメッセージログの設定

この切り替えセクションでは、初心者のヒントを紹介します。

ログイン

プライマリAPのWebユーザインターフェイス(UI)にログインします。そのためには、Webブラウザを開き、<https://ciscobusiness.cisco>と入力します。続行する前に警告が表示されることがあります。クレデンシャルを入力します。プライマリAPにアクセスするには、Webブラウザに[https://\[ipaddress\]](https://[ipaddress]) (プライマリAPの) と入力します。

ツールのヒント

ユーザインターフェイスのフィールドに関する質問がある場合は、次のようなヒントを確認してください。 

メインメニューの展開アイコンを見つけるのに問題がありますか？

画面左側のメニューに移動します。メニューボタンが表示されない場合は、このアイコンをクリ

ックしてサイドバーメニューを開きます。



シスコビジネスアプリケーション

これらのデバイスには、Webユーザインターフェイスと一部の管理機能を共有するコンパニオンアプリケーションがあります。Webユーザインターフェイスのすべての機能がアプリで使用できるわけではありません。

[iOSアプリのダウンロード](#) [Androidアプリのダウンロード](#)

よく寄せられる質問 (FAQ)

まだ未回答の質問がある場合は、よく寄せられる質問(FAQ)のドキュメントを確認してください。[FAQ](#)

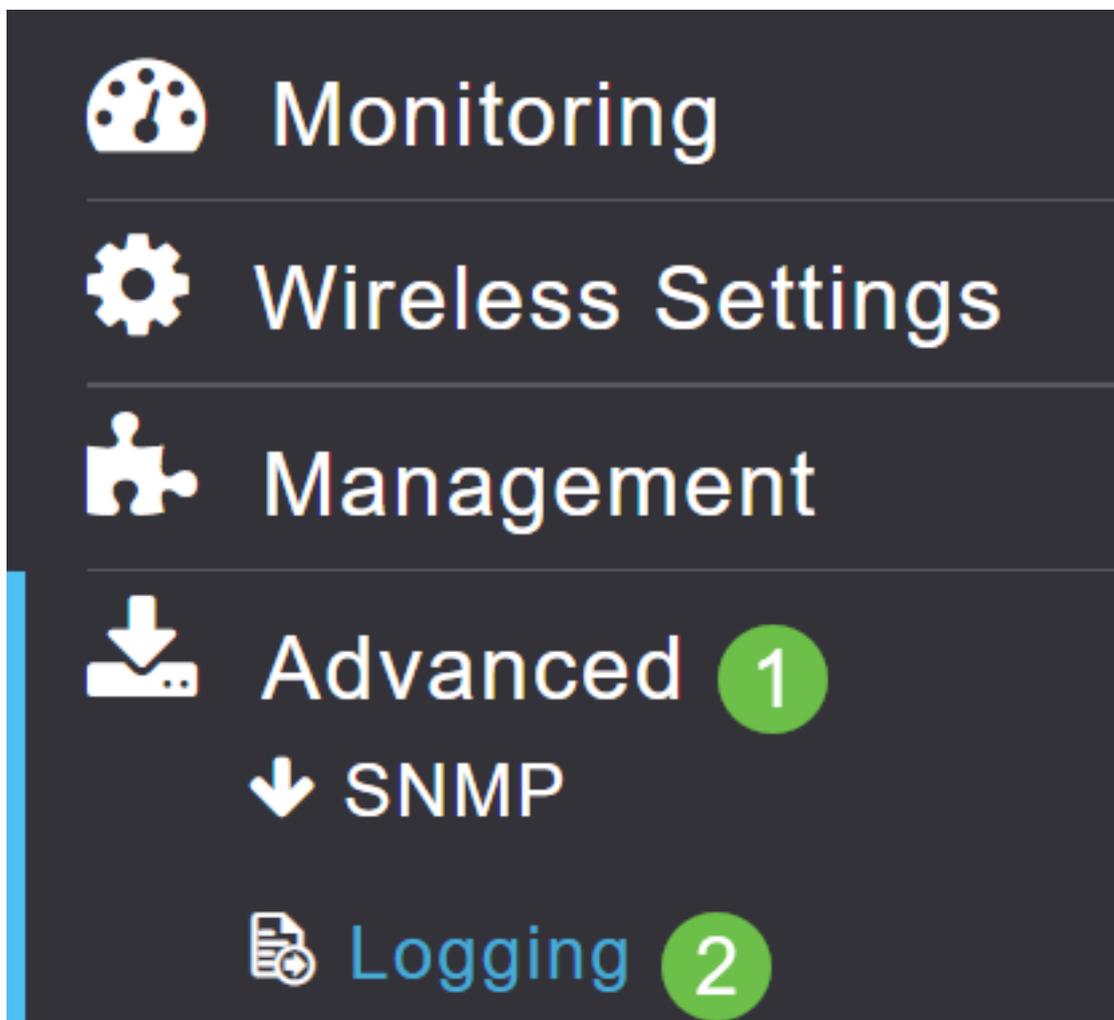
手順 1

プライマリAPのWeb UIにログインします。そのためには、Webブラウザを開き、<https://ciscobusiness.cisco>と入力します。続行する前に警告が表示されることがあります。認証情報を入力してください。

プライマリAPにアクセスするには、(プライマリAPの<https://<ipaddress>>)をWebブラウザに入力します。Cisco Business Mobileアプリを使用して、いくつかのアクションを実行できます。

手順 2

[Advanced] > [Logging]を選択します。

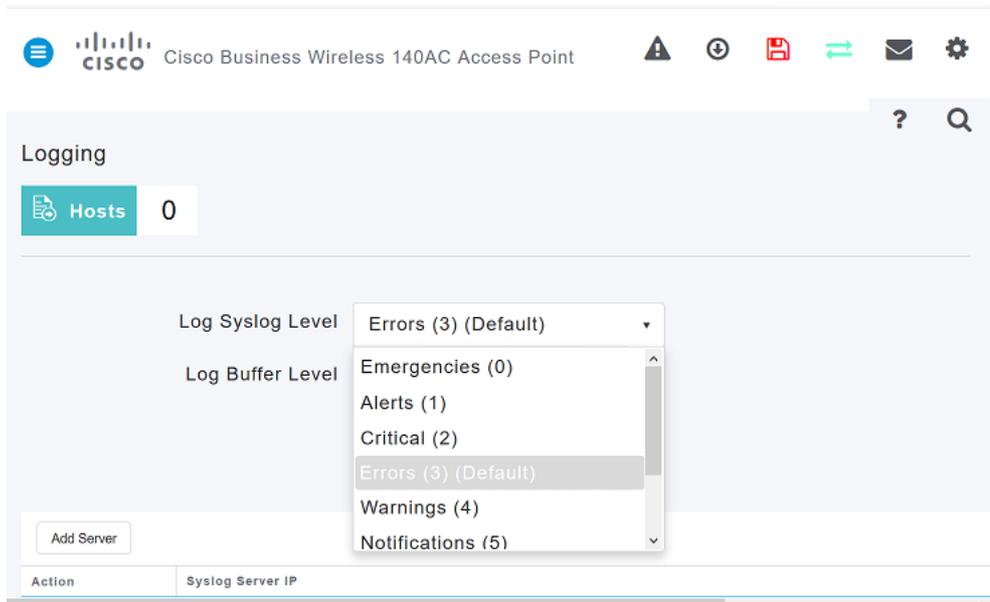


手順 3

[Log Syslog Level]をクリックします。ドロップダウンメニューから、通知のレベルを選択します。デフォルトはエラー(3)です。これは、レベル3以上の重大度が記録されることを意味します。

重大度の順に表示されます。

- *Emergencies*(Highest Severity) : このタイプのメッセージは、デバイスが重大な状況にあり、ただちに注意が必要な場合に記録されます。システムが使用できない。
- *Alerts* : このタイプのメッセージは、すぐに注意が必要な状態が発生すると記録されます。
- *Critical*
- *エラー* (デフォルト設定)
- *警告*
- *通知*
- *情報*
- *Debugging*(Lowest severity) : これは通常、トラブルシューティングを積極的に行っている場合にのみ使用されます。これは、ログが非常に迅速にフラッシュされるためです。



手順 4

[Apply] をクリックします。

Apply

手順 5

[ログ]ページを下にスクロールすると、ログが表示されます。ログをクリアする場合は、[Clear]をクリックします。リモートSyslogサーバをセットアップしない場合は、ステップ8に進みます。

LOGS

1

```
*spamReceiveTask: Mar 11 12:25:30.558: %APF-3-MESH_EXTENDER_AUTHORIZED: spam_radius.c:288 Wireless Mesh Extender - 68:ca:e4:6e:15:58 authorized by Master AP
*spamApTask0: Mar 11 12:25:30.557: %APF-3-MESH_EXTENDER_ASSOC_REQ: spam_meshsec.c:1678 Wireless Mesh Extender - 68:ca:e4:6e:15:58 is sending Association Request to join the network
*spamApTask0: Mar 11 12:24:54.556: %LWAPP-3-AP_DEL: spam_lrad.c:6079 68:ca:e4:6e:ba:60: Entry deleted for AP: 192.168.1.110 (5264) reason: Echo Timer Expiry
*spamApTask0: Mar 11 12:24:54.551: %WLAN-3-AP_DISCONNECTED: capwap_ac_sm.c:8410 AP68CA.E46E.1558 is disconnected.
*spamApTask0: Mar 11 12:24:54.550: %CAPWAP-3-ECHO_ERR: capwap_ac_sm.c:8373 Did not receive heartbeat reply; AP: 68:ca:e4:6e:ba:60
*spamReceiveTask: Mar 11 12:23:09.460: %APF-3-MESH_EXTENDER_AUTHORIZED: spam_radius.c:288 Wireless Mesh Extender - 68:ca:e4:6e:15:58 authorized by Master AP
*spamApTask0: Mar 11 12:23:09.458: %APF-3-MESH_EXTENDER_ASSOC_REQ: spam_meshsec.c:1678 Wireless Mesh Extender - 68:ca:e4:6e:15:58 is sending Association
```

ステップ 6 (オプション)

ログをリモートサーバーに送信する場合は、[サーバーの追加]をクリックします。

Logging

Hosts 0

Log Syslog Level Errors (3) (Default)

Log Buffer Level Errors (3) (Default)

Apply

Add Server

| Action | Syslog Server IP |
|--------|------------------|
|--------|------------------|

ステップ 7 (オプション)

[Syslog Server IP]フィールドに、Syslogメッセージの送信先となるサーバーのIPv4アドレスを入力します。[Apply] をクリックします。

Log Syslog Level Errors (3) (Default)

Log Buffer Level Errors (3) (Default)

Add Syslog Server IP

Apply

Syslog Server IP 1

2 Apply Cancel

手順 8

Syslog機能をオンにしてTFTPサーバを開く必要があります。これにより、ログをサーバ上のファイルに送信できます。

Tftpd64 by Ph. Jeanin

Current Directory: C:\Users\user\Desktop

Server interfaces: 10.15.53.0/24 ThinkPad T81 3 Dock Ethernet

Tftp Server | Tftp Client | Syslog server | Log viewer

| text | from | date |
|------|------|------|
|------|------|------|

Clear Copy

About Settings Help

手順 9

Web UI画面の右上のパネルにあるSaveアイコンをクリックして、設定を保存してください。



システムメッセージログの例

この例では、メッセージは高いトラフィック使用率を示しています。syslogに表示される場合は、より安定した動作環境のために、無線周波数(RF)チャンネルを輻輳の少ないチャンネルに変更する必要があります。

```
*RRM-DCLNT-5_0: Dec 25 16:51:34:543: %RRM-3-HIGHCHANNEL_UTN: mmLrad.c:7678 Interference is high on AP: APA453.0E1F.E480 [Level: 85] on Radio: 5Ghz(Radio2)
```

結論

これで、システムログにアクセスできます。戻って重大度レベルを変更したり、リモートサーバをいつでも追加できます。これにより、ネットワーク内の潜在的な問題を最新の状態に保つことができます。

[よく寄せられる質問 \(FAQ \)](#) [Radius](#) [Firmware Upgrade](#) [RLAN アプリケーションのプロファイリング](#) [クライアントプロファイリング](#) [プライマリAPツール](#) [Umbrella](#) [WLANユーザ](#) [Logging](#) [トラフィックシェーピング](#) [Rogues](#) [干渉源](#) [構成管理](#) [ポート設定](#) [メッシュモード](#)